

JICA 教師海外研修 学習指導案・授業実践報告書

【報告書タイトル】

ザンビア共和国で「幸せ」を考える

【実践者】

| | | | |
|-----------------|---------------|----------|---------------------|
| 氏名 | 吉見 求 | 学校名 | 福島県 本宮市立本宮まゆみ小学校 |
| 担当教科等 | 道徳 | 対象学年(人数) | 5年2組(23名) |
| 実践年月日もしくは期間(時数) | 2024年12月4日(水) | | |

【実践概要】

1. 教材名:「幸せ」に生きるために大切なことはなんだろう?

2. 内容項目及び目標:

「国際理解」「国際親善」(C 主として集団や社会の関わりに関すること)

他国の人々や文化について理解し、日本人としての自覚を持って国際親善に努めようとする気持ちを育てる。

3. 評価の視点

- ・ザンビアと日本の「ふだんの暮らし」について比較することで違いや共通点に気づき、「豊かさ」を捉え直し、それを基に「幸せ」に生きるとはどのようなことなのかを主体的に学ぶことができる。
- ・ワークシートを使い考えたことをお互いの意見の違いや共通点に気づき、尊重することができる。
- ・ワークシートの意見がどのような結果になったかを全体で共有し、話し合う時間を作り、それらを基に改めて自分の意見について考えることができる。

4. 単元設定の理由・単元の意義
(児童/生徒観、教材観、指導観)

【単元設定の理由】

ザンビア共和国の現状や体験した内容を子どもたちと共有することで海外の生活や文化、相違点と共通点に興味を持ってもらいたいと考えた。日本の良さや他国の良さがあることに気づくことで海外の国との繋がっていることに気づかせ、海外の国で起きている出来事を自分事して考えるきっかけとしてほしい。加えて「幸せ」を題材として、自己を見つめること、広い視野から多面的・多角的な見方が可能なこと、生き方について考えを深めることを狙いとした。

【単元の意義】

本単元では、「ザンビア共和国」「幸せ」を切り口として学習を展開する。ザンビア共和国の写真や子どもたちのアンケート結果を通じて、自分たちのこれまでのアフリカのイメージや見方を変容させたい。基本的にはアフリカやザンビア共和国については「貧しい」と考えている子どもたちが多い。豊かさには物質的なものと精神的なものがあることに気づかせ、「貧しい」のは自分たちなのかもしれないという価値観の揺らぎを作ることを狙いとした。また、海外の国と自分たちと間に繋がりがあること気づかせ海外の距離を近いと感じさせるきっかけとしたい。

「幸せ」という観点では、ザンビアの子どもたちと自分たちの見方を比較する、友達同士で対話をする活動を通して、「幸せ」は人それぞれで捉え方が異なること、考えが違って良いこと気づかせたい。お互いの違いを知ることでお互いに尊重し合う態度を育てたいと考えた。

【児童／生徒観】

本学年の子どもは、1組が男子14名、女子10名、2組が男子13名、女子10名、合計47名の学年である。5 学年の総合的な学習の時間で「福祉一ふだんのくらしのしあわせ」をテーマとして障がいのある人々と自分たちのくらしについて学んできた。今回の授業では世界の人々と自分のくらしの違いや共通点を教材とすることで子どもたちの視野をさらに広げ、自分たちの「豊かさ」は見方が変われば「豊か」ではないことを実感させたい。さらに自分たちのふだんのくらしや豊かさが本当に幸せと言えるのかという答えのない問いを投げかけることで子ども達の常識を揺さぶることで考えを深めさせたい。

【教材観】

導入はザンビア共和国の通学路・学校・水事情に関する写真を使用してフォトリディングを行う。この活動を通して日本との共通点や相違点を子どもたち自身に気づかせたい。「豊かさ」というキーワード、事前アンケート結果でザンビア共和国と日本を比較させ、これまでのザンビア共和国に対して持っていたイメージを変容させること、自分たちの生活や考え方は本当に豊かなのか、幸せなのかとこれまでの常識や価値観を揺さぶることを狙いとする。展開では、幸せについて考えるためのワークシートを用いて、それぞれが幸せと感じる選択肢を選び、友達と共有する活動を行う。普段はじっくりと考えたことのないであろう「幸せ」という概念について自分と友達とで捉え方が異なることに気づき、対話を通して異なる捉え方をどのように尊重すればよいかを確かめ合うことができる教材だと考える。

【指導観】

海外の国に住む人々の生活や考え方について、自分が生きる上での幸せについて日常的に考えている子供たちは非常に小数、もしくはほぼいないと考えられる。この状況を前提として、今知っている海外のことや幸せの捉え方には正解はなく、多面的で多角的であることを実感させ、お互いに意見や考え方に違いがあることを発見し、尊重する態度を育てることを狙いとして活動に取り組ませたい。授業を通して、次のような子どもたちの姿を目標と設定した。一つは、ザンビア共和国をきっかけとして世界の国々との心の距離が近づき、実際に現地に行ってみたいと感じる子どもたち。二つ目は、幸せの価値観には違いがあることが普通で他の人の考えを知ろうしたり自分の考えを深めようとしたりする子どもたちである。

5. 本時の展開

本時のねらい：

子どもがザンビアと日本の「ふだんのくらし」の違いや共通点に気づき、それを基に「豊かさ」を捉え直し、

7. 本時の振り返り

ザンビアへ子どもたちが実際に行ったような気分させるようフォトリディングの導入として、日本からザンビアへの道中の写真を用意し、スライドとして投影した。子どもたちにとっては初めて見る風景ばかりで興味を高めることができた。本命の写真の読み取りは時間が短くなってしまった点、教室照明の状況でモニターが見づらくなってしまった点が課題ではあったが、子どもたちは真剣に日本とザンビアの違いを読み取ろうとする姿勢が確認できた。ワークシートで自分が選んだ回答を黒板に掲示した選択肢上に付箋で貼る形式はクラス全体の意見が可視化でき、子どもたちは自然に「幸せ」に対する答えは人それぞれ違うことに気づくことができたと感じた。

8. 学習方法及び外部との連携

- ・社会科や家庭科の時間にザンビアを題材とした話を散りばめて、ザンビアでの経験を子どもたちに浸透させる工夫を継続している。
- ・次年度は6年生の総合の時間で本校は海外について学ぶカリキュラムが設定されている。JICA 二本松、福島デスクとも協力して出前授業を実施したい。

9. 学校内外で国際理解教育・授業実践を広める取組

- ・校内研究授業で公開する形として同僚の先生方に見学して頂き、ご意見を頂くとともにザンビアでの研修の内容を共有した。
- ・授業参観時にザンビアを題材にした授業を行う予定としている。保護者の方にもザンビアや海外について考えてもらう機会を作る。

【自己評価】

| | |
|-----------|--|
| 10. 苦勞した点 | <p>1時間で「幸せ」と「国際理解」のテーマを融合して展開する、という点が一番苦しく感じた。当初の4時間程度の計画で授業計画を設定していれば、児童がもっと題材を深く味わうことができたのではないかと実践してみて反省が残る。また、「幸せ」という抽象的かつ正解のない題材を扱うことを選択したため、教材を作ることに非常に時間がかかってしまった。</p> <p>導入でフォトリディングを活用した際にモニターと黒板に張り付けた写真で読み取りをさせた。この部分で写真の見づらさもあったためか、児童からの反応が少なく、授業者が流れを作る形となった。フォトリディングの特性上、時間を多く確保した活動が効果的ではないと感じた</p> |
| 11. 改善点 | <p>授業計画で1時間ではなく、4時間から6時間の総合的な学習の時間で位置付けでの実践がさらに子どもたちの学びを深めるのではないかと考えている。1時間の中で展開するには詰め込みすぎてしまったと感じた。次回授業を実施する際は、一つ一つの題材についてじっくり考える、グループで対話をする時間を増やした形での展開した場合を試してみたい。</p> |

12. 成果が出た点
 授業を通して、子どもたちが持っていたザンビアの印象を変えられた点、「幸せ」という抽象的な概念について気づきを得られた子どもたちが数名でいた点が大きな成果だったと考えている。ザンビアの印象に関しては、物質的な豊かさと精神的な豊かさがあることを子どもたちが学び、「ザンビアは貧しくはないのではないか」と考える子どもたちがみられた。「幸せ」については、それぞれが選んだ選択肢を付箋で黒板に貼られたのを見て、幸せの考えはばらつきがあると気づきを得た子どもがいた。今回の授業の狙いとする「価値観を揺さぶる」ことが一部達成できたと感じている。

13. 学びの軌跡
 (児童生徒の反応・変化、感想文、作文、ノートなど)
 児童が記述したワークシートの抜粋

2. あなたが「幸せ」に生きるために大切だと思うことはなんですか？3つ選ぼう

選んだカード

| 番号 | 理由 |
|------|------------------------------------|
| (7) | 差別は人を互きずつけるから |
| (10) | いじめがあるとやられた側は幸せではないし、やられた方も幸せじゃないか |
| (18) | お金がなくても勉強や生活ができる幸せになるから |

『感想・気づいたこと、授業前と最後で変わったこと』

最初^は貧しい人には幸せはおとすれない
 と思ったけどこの授業をして幸せはだれにでもおとすれることが分かった

2. あなたが「幸せ」に生きるために大切だと思うことはなんですか？3つ選ぼう

選んだカード

番号 理由

- (10) いじめがあると笑顔がなくなるけど、いじめや暴力などがなくなると笑顔が戻る
- (17) 友達と一緒にいると、ほっと心が安くなる
- (11) 外で遊ぶと元気になる

『感想・気づいたこと、授業前と最後で変わったこと』

心が、じんわり暖かくなった気がします。

かきまわすやその子にわかれていたりするけど、サングラスの子でも
たしなませよう、サングラスは勉強・分のことが100%でき
てきたのはなんでか"うう"と思、う。

2. あなたが「幸せ」に生きるために大切だと思うことはなんですか？3つ選ぼう

選んだカード

番号 理由

- (6) 外の空気土がまぶれていたら安心しておぼろこが"ではないから。
- (19) お金がないのは"他人"の理由があるから安心して生活してほいから。
- (20) 障がいや病氣はその人がなりたてなため"障がい"は差別されるべきでなく
差別していいことなくて"うう"はないから。(国、容拳、考、考、考)

『感想・』

サングラスの人がみんな"自分"で生活をしているか、
分りました。

| | |
|----------------|--|
| 14. 授業者による自由記述 | <p>教師海外研修に参加し、海外の教育環境や文化に直接触れることでこれまで知っていた知識に血が通った感覚とともに知らない世界に飛び込み普段は感じられない知的好奇心の高まりや喜びを得られたことは私にとっては非常に濃密で価値がある経験だった。また、海外研修に参加し見聞き体験した全てを吸収して教育現場に還元しようとする志を持った仲間ができたことも代えがたい価値があった。今回の研修を通して、今後も国際理解教育や開発教育の実践を続けていきたいという思いを抱いている。教材を開発する苦勞もあるがこれも含めて新たな挑戦を教育現場でやりたいという意味がある方には非常に有意義な研修であると断言できる。</p> |
|----------------|--|

参考資料：

豊かさ&開発—[Development for the Future](https://www.dear.or.jp/books/book01/884/)

<https://www.dear.or.jp/books/book01/884/>

出展：開発教育協会 DEAR

自分が「幸せ」に生きるために大切なこと

【カード】

5年 組

| | | |
|--|--|--|
| <p>1</p> <p>おしゃれなもの、おいしいもの、便利なものがお金を払えばすぐ手に入る</p> | <p>2</p> <p>家の近くにおおきなショッピングモールや遊ぶ施設がある</p> | <p>3</p> <p>好きな仕事を選べる</p> |
| <p>4</p> <p>まじめに働けば生活に困らないお金が稼げる</p> | <p>5</p> <p>自然や豊かな環境が周りにたくさんある</p> | <p>6</p> <p>大気汚染、海、山、環境破壊がこれ以上進まない</p> |
| <p>7</p> <p>国、容姿、考え方、障がい病気などの「違い」を理由に差別されない</p> | <p>8</p> <p>子どもに関わる法律やまちのルール決定に子どもの意見が反映される</p> | <p>9</p> <p>お金がなくても、けがや病気などの時に医者にみてもらえる</p> |
| <p>10</p> <p>暴力やいじめの心配がなく生活できる</p> | <p>11</p> <p>子どもが外で自由にのびのびと遊ぶことができる</p> | <p>12</p> <p>安心して寝泊りができる場所がある</p> |
| <p>13</p> <p>だれでも家庭の事情に関りなく、学校や家で必要な教育を受けられる</p> | <p>14</p> <p>建物や道路などがバリアフリーな社会</p> | <p>15</p> <p>自分が人と違う行動やくらしをしても周りに受け入れられる</p> |
| <p>16</p> <p>家族以外にいざという時に頼れる大人がいる</p> | <p>17</p> <p>安心して一緒にいられる友達がいる</p> | <p>18</p> <p>お金がなくても安心して生活ができ、勉強もできるように国が支援している</p> |

1. 「豊かさ」とはということ？

豊かさ ……
↑↓
_____ ……

どうしてザンビアの子どもたちは「幸せ」を感じているのかを書いてみよう

2. あなたが「幸せ」に生きるために大切だと思うことはなんですか？3つ選ぼう

選んだカード

番号 理由

() _____

() _____

() _____

『感想・気づいたこと、授業前と最後で変わったこと』